



英語の口頭表現の教育方法とその開発

生命環境学部 総合教育センター
Dion Clingwall (クリングウォール ディオン)

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 2402号室
Tel. 0824-74-1726
E-mail: dclingwall@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 言語獲得、英語の教育、語彙獲得、看護師の英語、
言語教育研究、第二言語と第三言語

キーワード： 流暢、語彙、言語

近隣住民とのかかわりの中で、私が研究してきたことを役立てる機会があるのであればぜひとも貢献したいと願っています。

● 主な取り組み・活動

1) 口頭技量における流暢さの構成的性質に関する調査、構成要素の相対的重要性、 2) 口頭能力評価における発表語彙の調査 - オンライン口頭能力評価ツールの開発に向けて、 3) 段階別読書と併せたリスニングに焦点を当てた指導。以上の3つの研究プロジェクトを完了させるために取り組んできました。

● 今後の目標・抱負

新たに行うことを希望する研究・共同研究としては、1) オンライン語彙プログラム、多読教材、伝統的な教科書コンテンツを組み合わせた集中語彙獲得コースの継続研究、2) ビデオレッスンでの同時字幕の活用、3) 特殊・学術目的 (ESP/EAP) のための英語及び学術発表に焦点を当てた、学習者のための一連のテンプレートとデータベースの開発です。またキャリア目標としては、応用言語学 (流暢性、会話能力、産出語彙) で博士号を取得すると共に、言語講師、言語研究者としてのスキルを引き続き伸ばしていくことです。

● これまでの連携事例・実績

私は個人的に、学会でのディスカッションにおける方策、アカデミックプレゼンテーション、盗作と倫理、面接のスキル、履歴書の準備など、大学生と大学院生を対象にした多数のセミナーをボランティアで行ってきました。海外での言語学習プログラム、週末集中言語リトリート、英語と文化について話し合う週間ミーティング、マルチメディア英語インターフェースプロジェクト、英語スピーチコンテストなど様々な英語での活動も企画しました。

また、フェニックスリーダー育成プログラムの講師として、私は放射線災害復興専門家の育成授業において大学院生に非常に積極的に言語サポート (日本語から英語への翻訳・通訳) を提供しました。私は、海外の研究セミナーと連携したり、生徒の実地調査をサポートするために福島に2回赴いたり、災害復旧プロジェクトの他のプログラムの教授と協働してきました。福島に滞在中、農家、避難者、県・市町村の職員等の利害関係者、および世界各国からの研究者と直接協働しました。

● 地域・社会と連携して進めたい内容